

2017年秋の大会

YGN セッション

福島第一原発の廃炉と向き合う

Confronting the decommissioning of the Fukushima-Daiichi Nuclear Power Station

本セッションは、YGN が主催、社会・環境部会が共催で開催する。

まず、平成 28 年度社会・環境部会賞（優秀活動賞）を受賞した立命館大学の開沼博氏に、受賞の対象になった活動・研究のうち、特に廃炉に関する活動について講演していただく。福島地域社会の復興の実相や課題については、すでに同氏から 2016 年春の年会にてお話しいただいているが、近著『福島第一原発廃炉図鑑』（2016 年 6 月刊行）と、関連する「福島第一原発廃炉独立調査研究プロジェクト」については、原子力専門家・実務者の間ではまだ十分には共有されていない。YGN では、原子力に携わる若手が、福島の廃炉をめぐる諸課題について、各々の所属組織や立場によって程度の差はあれども、生涯にわたる原子力のキャリアを通じて継続的に考えていくことが必要であるという認識を強く持っており、これまでも福島第一の視察等の活動を行ってきた。開沼氏の主導する上記の活動は、「福島第一原発の廃炉の情報をわかりやすく皆で共有し、そこに何らかの形で関わる機会をつくること」を目的としており、これは YGN の目指す方向性と合致していることから、今回のセッションを企画する。

開沼氏の講演とあわせて、現在廃炉分野で進められている国際協力の経験について、実務経験のある若手から話題提供をいただく。さらに、両講演者及び YGN からの討論者 1 名を加えて、廃炉の実情や課題、廃炉問題について若手として持つべき視座等についてパネル討論を行う。

（参考）

平成 28 年度社会・環境部会 優秀活動賞：（立命館大学）開沼博氏

（授賞理由）福島原発事故とその被害、そして地域社会の回復・復興の実相を、根拠のあるデータを通じて人々が見つめるために必要な情報発信・接触機会提供の様々な活動